

# JACET中国・四国支部 Newsletter

## 第17号

### 目次

1. 巻頭言	支部長 松岡 博信	p.1
2. 2016年度春季支部研究大会報告	大会実行委員長 池野 修	p.2
3. 2016年度支部第1回役員会報告	事務局幹事 三宅 美鈴	p.3
4. 2016年度支部総会報告		p.4
5. 2016年度支部研究会 第8回OPPイベントお知らせ	岩井 千秋	
6. 2016年度秋季研究大会発表応募要領		
7. 2016年度『JACET 中国・四国支部研究紀要』投稿募集		p.5
8. 事務局だより		p.6
編集後記		p.7
【重要】ニューズレター (NL) 配信についてお願い		p.8

## 1. 巻頭言

中国・四国支部長 松岡 博信

中国・四国支部会員の皆様。支部長の松岡博信です。いつも大変お世話になっております。本年度最初の JACET 中国・四国支部 Newsletter をお届けいたします。

さて、6月4日(土)午後からJACET中国・四国支部春季研究大会が愛媛大学教育学部

にて開催されました。会場校である愛媛大学の池野修先生および愛媛大学・松山大学の先生方には、大変にお世話になりました。おかげさまで研究発表は9件を数え、さらに午後4時40分から愛媛大学の先生方によるパネルディスカッションが催され、計5

名の愛媛大学英語教育センターの先生方に「愛媛大学における先進的な英語教育の取り組み」の題目で発表いただきました。研究発表およびパネルディスカッションでご発表いただいた先生方全員に心より感謝申し上げます。

今回で松山市における支部研究大会の開催は2回連続となりました。昨秋の10月24日(土)には松山大学で秋季支部研究大会が、そして今回は隣接する愛媛大学の先生方のご協力のもとに開催できた訳ですが、前回と同様に互いに協力し合う両大学の先生方の姿に、日頃の交流の深さを感じました。研究大会終了後には、役員のみならず多くの先生方のご参加をいただいて懇親会が開かれ、2次会でも昨秋と同じようにカラオケで盛り上がりました。この2回連続の松山市開催となった支部研究大会は、中国地区および四国地区の会員の皆様の互いの親交を深め、両大会とも大変思い出深いものとなりました。

さて中国・四国支部は、その名前が示す

ものを大事に捉え、毎年度2回ある支部研究大会のうち、中国地区と四国地区がそれぞれ1回ずつ開催することを目指して来ており、かつこれまで実現させて来ました。したがって10月22日(土)の秋季支部研究大会は中国地区が担当となり、高橋俊章先生を大会実行委員長として山口大学教育学部で開催されます。今回は、『授業が変わる! 英語教師のためのアクティブ・ラーニングガイドブック』等の著者である上山晋平先生(福山市立福山中・高等学校)に、アクティブ・ラーニングに関するワークショップを中心としたお話をして頂くことを計画しております。また、研究発表の方もお申込みをどうかよろしくお願い申し上げます。

私たち中国・四国支部役員は、これからも中国・四国支部活動の充実を目指して精一杯尽力する所存でございますので、今後もしご指導・ご鞭撻、そしてご支援のほど、どうかよろしくお願ひいたします。

(安田女子大学)

## 2. 2016年度春季研究大会報告

大会実行委員長 池野 修

大学英語教育学会(JACET)中国・四国支部2016年度春季研究大会は、平成27年6月4日(土)に、愛媛大学教育学部を会場にして開催された。本研究大会では9件の研究発表とパネルディスカッションが行われ、40数名の参加者があった。

支部研究大会を四国地区で行う場合は愛媛県松山市で行うことが多い。近年では、2009年、2012年にも愛媛大学で開催しており、昨年(2015年)の10月24日(土)にも、同じく松山市にある松山大学において支部秋季研究大会(松山大学大学院言語コミュニケーション研究科との合同開催)を行ったばかりである。この秋季大会において12件に及

ぶ研究発表がなされたこともあり、特に愛媛地区の研究発表者を短期間の内に連続で確保するのが難しいことが予想された。実際に、発表申し込み締め切り1週間前の段階では大会開催が危ぶまれるような状態であった。

幸い、最終的には申込みは9件となり、発表は2会場に分かれて行われた。その内容は、「複数形態素“-s”に関するエラーと言語的差異の意識化の必要性」といった第2言語習得研究、「Nathaniel HawthorneのDr. Heidegger's Experimentにおける話の展開と文体論的特徴」などの文学・文体論研究、「アクティブ・ラーニングで学ぶ英

語教育学専門科目の授業実践」といった英語教師教育研究など多岐に渡っており、JACET 会員の多様な関心を反映したものとなっている。

研究発表の後に、「愛媛大学における先進的な英語教育の取り組み」というパネルディスカッションを開催した。今回扱ったテーマは「高大連携」であり、限られた時間(60分)ではあったが、「Sharing the experience of teaching Super Global High School students」及び「Pilot Study of P-AP Program at Ehime University」という2つの話題提供を起点として、SGH 事業や大学アウトリーチ・プログラムを通じた高大連携の可能性について有意義な意見交換がなされた。

中国・四国支部は、他の支部と比較して会員数は多くはなく(それでも JACET 会員が増加している唯一の支部とも聞いている)、交通の便などの点でも研究大会や研究会への参加は容易ではない環境である。しかしながら、大会や研究会の雰囲気は大変受容的であり、参加者が協同して意義のある会にしようという雰囲気も強く感じられる。今回の春季研究大会も、参加人数の点では(近年では)小規模なものとはなったが、(大学)英語教育の研究と実践について多面的で深い対話が交わされた。そのような研究大会を共に創り上げていただいた研究発表者、参加者の皆さんに深くお礼を申し上げたい。

(愛媛大学)

### 3. 2016 年度 JACET 中国・四国支部

#### 第 1 回役員会報告

事務局幹事 三宅 美鈴

2016 年 6 月 4 日(土)に開催された第 1 回支部役員会にて、2016 年度の事業計画(案)および予算(案)について話し合いが行われました。暫定的ではありますが、お知らせいたします。

#### 1) 春季研究大会

日程：2016 年 6 月 4 日(土)

場所：愛媛大学 教育学部

(愛媛県松山市文京町 3)

#### 2) 秋季研究大会

日程：2016 年 10 月 22 日(土)

場所：山口大学教育学部

(山口県山口市吉田 1677-1)

大会テーマ：「能動的な学修と授業参加を促す英語授業」

#### 3) Oral Presentation & Performance (OPP) 研究会

日程：2016 年 12 月 11 日(日)

場所：広島国際大学 呉キャンパス

時間：10 時～15 時頃まで(予定)

#### 4) 支部紀要・支部ニューズレター

・『大学英語教育学会中国・四国支部紀要』(第 14 号)

発行：2017 年 3 月 31 日(予定)

・支部ニューズレター

発行：2016 年 7 月 30 日(第 17 号)(本号)

2017 年 1 月 10 日(第 18 号)(予定)

## 4. 2016 年度支部総会報告

2016 年 6 月 4 日（土）愛媛大学において支部総会が開催されましたので、ご報告いたします。

### 議題 1. 2015 年度事業報告

- 2015 年 6 月 6 日に広島工業大学にて春季研究大会が、2015 年 10 月 24 日に松山大学にて秋季研究大会が開催された。
- 支部研究会（OPP）が 12 月 13 日に安田女子大学で開催され、100 名程度の来場者があった。
- 第 13 号支部紀要が 3 月 31 日に発行された。
- 年 2 回（9 月と 1 月）ニューズレターが

配信された。

- 年 3 回（6 月 6 日、10 月 24 日、3 月）の役員会を開催された。

議題 2. 2016 年度事業計画および予算について

2015 年度とほぼ同様の内容で承認された。（前頁参照）

議題 3. 2016 年度中国・四国支部人事について

下記「事務局だより」に詳細を記載していますので、ご参照ください。

以上。

## 5 2016 年度支部研究会 OPP イベントお知らせ

支部研究活動として取組んでいる Oral Presentation & Performance (OPP) の第 8 回大会を以下のとおりご案内いたします。8 月末まで申し込みを受け付けますので、ご関心のある会員の皆様には奮ってご応募ください。

募集期間 8 月 29 日（月）まで。 開催日時 2016 年 12 月 11 日（日） 10 時～15 時頃まで 開催場所 広島国際大学呉キャンパス
--

### 募集条件

1. JACET 支部会員であればどなたでもエントリー可。
2. 先生方が指導されている学生さんによるプレゼン（先生の発表ご参加も歓迎。各大学の発表時間は最長 20 分まで）

### OPP 代表 岩井 千秋

3. 受付は先着順で、8 校程度まで。
4. 申込みは代表者にメール。  
[iwai@intl.hiroshima-cu-ac.jp](mailto:iwai@intl.hiroshima-cu-ac.jp)

OPP 研究会は 2009 年に発足し、昨年度は 7 大学のエントリーがありました。ご参考までに、OPP の活動は、学習者にとっては協同学習に取り組み、その成果を他大学の学生・教員などのオーディエンスの前で発表することを目的としています。教員側にとっては、各種の取り組みに触れることで、指導法やその技能を高めることを目的としています。和気あいあいとした楽しいイベントですし、他大学の先生方や学生さんとの貴重な交流の場でもあります。気楽にご参加いただければ幸いです。

（広島市立大学）

## 6 2016年度秋季研究大会発表募集要領

2016年度秋季研究大会における、研究発表募集を下記のとおり募集いたします。奮ってご応募ください。

支部秋季研究大会

日時：2016年10月22日(土)

場所：山口大学 教育学部

(山口県山口市吉田 1677-1)

### A) 応募情報

(英語の併記もお願い致します)

- a. 発表題目 (Title) : 日本語と英語
- b. 種別 (Style) : 自由研究発表, 実践報告, 事例研究など
- c. 氏名 (Name) :
- d. 研究領域 (Research Area) :
- e. 概要 (Abstract) : 目的, 背景, 仮説, 方法, 結論, 引用文献など日本語の場合は 600 字以内, 英語の場合は 250 words 以内とする。
- f. 所属 (Affiliation) :
- g. 使用機器 (Equipment needed) :
- h. 連絡先 (Contact Address) : メール

アドレスなど

### B) 申込応募期間

■2016年9月30日(金)

午後12時59分まで

### ■申込先

下記支部 HP の申込フォームをご利用ください(発表, および懇親会への参加申込ができます)。

<http://ws.formzu.net/fgen/S5242209/>

### C) プログラムおよび発表スケジュール

詳細は支部会員 ML, および支部 HP でお知らせします。(支部会員 ML へのアドレス追加をご希望の方は事務局までご連絡ください)。

### ■問い合わせ先

事務局幹事 三宅 美鈴

[m-miyake@it.hirokou-u.ac.jp](mailto:m-miyake@it.hirokou-u.ac.jp)

## 7. 2016年度『JACET中国・四国支部研究紀要』投稿募集

質的研究や量的研究など様々な観点に基づく論文, リサーチ・ノート, 実践・研究報告, およびブックレビューの4つの分野の研究発表を掲載する場として, 年一回3月に支部紀要を刊行しています。

応募資格は, 所定の学会費を完納した支部会員とします。ただし委嘱原稿については, この限りではありません。

投稿論文は, 原則として過去2年以内に開催された全国大会および支部大会で発表を行った研究にもとづくものが望ましいです。

審査は, 委嘱原稿を除き, 紀要編集委員会が指名する審査員が担当し, 査読の結果を踏まえて編集委員会が採用の可否を決定

いたします。

JACET中国・四国HPにある投稿規程をご参照の上, 奮ってご応募ください。

なお, 発行までの日程は原則として下記のとおりです。

■投稿原稿締め切り：10月末

■審査結果通知：12月末

■修正原稿締め切り：1月末

■刊行：3月末

送付先：紀要編集委員会委員長

平本哲嗣(安田女子大学)

E-mail: [hiramoto@yasuda-u.ac.jp](mailto:hiramoto@yasuda-u.ac.jp)

## 8. ～事務局だより～

前期もそろそろ終盤を迎え、成績管理をする時期が参りました。皆様に置かれましては、お忙しい日々をお過ごしのことと存じます。

さて、今年度の中国・四国支部第1回役員会が、2016年6月4日(土)に愛媛大学教養学部で開催され、鳥越先生、田中先生、角山先生がご退職、ご転任、そして諸事情により役員を辞任されることになりました。長い間、大変お世話になり、ありがとうございました。ここに深くお礼申し上げます。支部役員の数が一時的に減少いたしますが、全員一丸となって、引き続き任務を遂行してまいりたいと思いますので、会員の皆様のご協力をどうぞ、よろしくお願い申し上げます。

今年の秋季研究大会は山口大学で開催されます。ご講演またはワークショップにおいて、『授業が変わる！英語教師のためのアクティブ・ラーニングガイドブック』等の著者でもあります上山晋平先生に来ていただく予定です。奮ってお誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

2016年度の新会員をご紹介します。

### ★新入会員紹介★(2016年2月～7月現在)

増田 由佳	(広島修道大学)
益子 行弘	(浦和大学)
Kane, Eleanor	(島根県立大学)
木戸口 英樹	(香川大学)
Burrows, Christian	(中国学園大学)
中川 篤	(広島大学 院生)
馬場崎 賢太	(広島修道大学)
吉留 文男	(国立徳山工業高等専門学校)
坂田 浩	(徳島大学)
Magee, Glenn	(愛媛大学)
Connelly, Christopher	(愛媛大学)
Pope, Christopher Jon	(徳島文理大学)
北木 律子	(安田女子大学, 院生)
Batten, Paul	(香川大学)
竹田 佳恩	(愛媛大学)

Webber, Scott (愛媛大学)

以上、16名が新しくメンバーに加わりました。どうぞ、よろしくお願いいたします。

以下、2016年度の支部人事です。  
本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

### ★2016年度支部人事★

#### 【支部役員】

支部長 松岡 博信 (安田女子大学)  
副支部長 岩井 千秋 (広島市立大学)

支部幹事 (\*は事務局幹事)

\*三宅 美鈴 (広島国際大学)  
高橋 俊章 (山口大学)

支部会計担当者

田辺 尚子 (安田女子大学)

支部研究企画委員

五百蔵 高浩	(高知県立大学)
池野 修	(愛媛大学)
岩中 貴裕	(山口学芸大学)
上西 幸治	(広島大学)
折本 素	(愛媛大学)
小山 尚史	(岡山大学)
高垣 俊之	(尾道市立大学)
高橋 俊章	(山口大学)
瀧 由紀子	(松山大学)
田辺 尚子	(安田女子大学)
田淵 博文	(就実大学)
寺嶋 健史	(松山大学)
中山 晃	(愛媛大学)
二五 義博	(海上保安大学校)
西田 正	(福山大学)
平本 哲嗣	(安田女子大学)
堀部 秀雄	(広島工業大学)
三熊 祥文	(広島工業大学)
三宅 美鈴	(広島国際大学)
山川 健一	(安田女子大学)

ローレンス・ダンテ (就実大学)

【本部委員】

理事 松岡 博信 (安田女子大学)

岩井 千秋 (広島市立大学)

総務委員会 (支部事務局幹事)

三宅 美鈴 (広島国際大学)

財務委員会 (支部会計担当者)

田辺 尚子 (安田女子大学)

国際大会組織委員会本部

山川 健一 (安田女子大学)

『JACET 通信』委員会

松岡 博信 (安田女子大学)

学術出版委員会紀要担当

平本 哲嗣 (安田女子大学)

学術出版委員会

平本 哲嗣 (安田女子大学)

セミナー事業委員会 サマーセミナー担当

田淵 博文 (就実大学)

研究促進委員会

岩井 千秋 (広島市立大学)

国際交流委員

堀部 秀雄 (広島工業大学)

大学英語教育学会賞運営委員会

池野 修 (愛媛大学)

★支部紀要・ニューズレター発行予定★

『支部紀要』第 15 号

2017 年 3 月 31 日刊行 (予定)

『大学英語教育学会中国・四国支部ニューズレター』

2016 年 7 月 30 日 (第 17 号) 発行 (本号)

2017 年 1 月 10 日 (題 18 号) 発行 (予定)

【編集後記】

私の趣味の一つにガーディニングがある。ズボラなため、消毒はほとんど行わない。従って、花やハーブの成長には観察力が左右する。葉っぱの裏、茎、花の中など、時間が許す限り腰を屈め (目が悪いこともある) 観察をする。病気や虫食いなど見逃すと、一日で、あっという間に無残な姿になってしまう。

これくらい真剣に学生も観察すると、きっと何かが見えてくるのかもしれないと思うことがある。最近、元気のない学生、休みがちな学生など、きっと様々な信号を送っているにちがいない。気づいてあげられないのか、いや、気づいていても関係ない、自己責任だと、知らぬふりをしているのか。中にはやさしい一言が救いとなる学生もいるかもしれない。

草花を育てるのと同様に学生を育てるには、観察力と忍耐とやさしさが必要である

う。こんなことをひとりつぶやきながら、梅雨時の紫陽花を楽しみつつ観察を続けている。

(M.M)

(アナベル。華奢で繊細で、私の最も好きな花のひとつです。)



**【重要】 JACET(大学英語教育学会)**

中国・四国支部ニューズレターの配信について

中国・四国支部では、支部会員の皆様により迅速な情報提供を図るべく、2014年度よりメールにてニューズレターを配信しています。お知り合いの会員の中で、まだ登録をされていない方がおられましたら、下記要領にて登録をされますよう、お知らせください。ご協力の程、どうぞよろしく願いいたします。

1. 支部 HP (<http://jacet.edu.yamaguchi-u.ac.jp>) にアクセスする。
2. 入力フォームのサイトのページ(<http://ws.formzu.net/fgen/S61768122/>)に入る。
3. ウェブの入力フォームに下記の情報を入力する。

・支部のメーリングリストに登録を希望しますか？

- すでに登録している
- 希望する
- 希望しない

(※すでに事務局からのメールが届いている方は登録済みです。)

・登録を希望するメールアドレス

※ニューズレターはメール送信とともに、支部ホームページでも公開します。

なお、上記の作業についてご不明な点がございましたら、事務局幹事の三宅 (m-miyake@it.hirokoku-u.ac.jp) までお問い合わせください。

JACET 中国・四国 Newsletter 第17号

2016年7月30日 発行

発行人 : JACET 中国・四国支部(支部代表 松岡 博信)

編集 : JACET 中国・四国支部 三宅 美鈴

発行所 : 〒739-2695 東広島市黒瀬学園台 555-36

広島国際大学 保健医療学部医療技術学科 三宅 美鈴 研究室

連絡先 : Tel:0823-70-4563 FAX:0823-70-4544 E-mail: m-miyake@it.hirokoku-u.ac.jp